OABSS｜得点・臨床記録

01｜原版で回答し、4項目の得点を転記する

氏名／ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

対象期間：_____月_____日～_____月_____日（直近1週間）

回答：□本人記入 □読み上げ補助 補足情報の提供者：_____

薬・環境の変更：_____

4項目の記録｜質問文・回答選択肢はリンク先の日本語原版を使用

項目	範囲	今回の得点	前回の得点
Q1 日中の排尿	0～2	点	点
Q2 夜間の排尿	0～3	点	点
Q3 尿意切迫感	0～5	点	点
Q4 切迫性尿失禁	0～5	点	点
合計	0～15	点	点

前回評価日：_____ 変化量（今回−前回）：_____点 ※低下が改善方向。

判定｜まず尿意切迫感、次に合計点を確認

Q3≧2点：□はい □いいえ 合計≧3点：□はい □いいえ
両方「はい」ならOABの症状スコア基準に該当。診断は診察・尿検査等と合わせる。

重症度（OABとして解釈する場合）：□軽症≦5点 □中等症6～11点 □重症12～15点
□基準非該当 □回答不足で判定保留（不明を0点として扱わない）

本人が最も困る場面・目標

□外出 □睡眠 □漏れ □急いで移動 □更衣 □その他_____

本間らの4項目版に基づく得点・臨床記録用紙。質問文全文は転載せず、原版で回答して転記。
日本語質問票PDF（鳥取大学公開）を開く ／ 開発原著 Homma et al., 2006

02｜生活場面と再評価をつなぐ

氏名／ID：_____ 記録日：_____ 担当：_____

点数を読むための要点

・Q1/Q2は回数、Q3/Q4は切迫感とそれに伴う漏れの頻度。合計だけで見ない。
・Q4＝0でもOABの基準を満たす場合がある。咳・くしゃみに伴う漏れは区別する。
・3点低下は改善の目安：薬物治療282人・12週の研究による。治癒の判定ではない。
・OABSSだけで残尿、腎障害、転倒リスクや排泄自立度を判断しない。

追加評価と確認

□排尿日誌 □尿検査・診察 □残尿測定 □薬の確認 □睡眠・飲水の確認

切迫感が出る場面／漏れる直前の状況：

移動・更衣・意思表示・トイレ環境／家族の観察：

支援計画｜症状への治療と、生活動作への支援を並行する

課題	実施内容／担当	次回確認
症状・医学的評価		
移動・更衣・環境		
本人の生活目標		

再評価日：_____ 回答方法・条件：_____

次回比較：□各項目点 □合計点 □日誌 □漏れ □外出 □睡眠 □本人の実感

排尿不能、強い下腹部痛、血尿、発熱・排尿痛などは点数にかかわらず医師へ共有。

実施時は原版をご確認ください。生活目標・対応欄はSTROKE LAB追加。
Gotoh et al., 2011（改善の目安） ／ AUA/SUFU, 2024（診療指針）
過活動膀胱診療ガイドライン 第3版（2022）